

## Ⅱ 財務の視点>資金力>資金調達力>銀行融資の仕組み>内部格付制度>財務定量モデル>デフォルト事象と関連の深い財務指標

### 1. 格付機関が採用している財務指標の組合せ

| ムーディーズ         |       | S&P            |       |
|----------------|-------|----------------|-------|
| 財務指標           | 相関係数  | 財務指標           | 相関係数  |
| 留保利益率          | 0.58  | 有利子負債比率        | -0.64 |
| 有利子負債比率        | -0.57 | 留保利益率          | 0.61  |
| 総キャピタライゼーション比率 | -0.54 | 総キャピタライゼーション比率 | -0.59 |
| 固定長期適合率        | -0.48 | 自己資本比率         | 0.56  |
| 有利子負債/EBITDA   | -0.48 | 固定長期適合率        | -0.5  |
| 自己資本比率         | 0.47  | 有利子負債/EBITDA   | -0.49 |

相関係数がプラス → 数値が大きいほどデフォルト確率が低い指標

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100(\%)$$

$$\text{留保利益率} = \frac{\text{利益剰余金}}{\text{総資本}} \times 100(\%)$$

相関係数がマイナス → 数値が小さいほどデフォルト確率が低い指標

$$\text{有利子負債比率} = \frac{\text{有利子負債}}{\text{総資本}} \times 100(\%)$$

$$\text{総キャピタライゼーション比率} = \frac{\text{有利子負債}}{\text{有利子負債} + \text{自己資本}} \times 100(\%)$$

$$\text{固定長期適合率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{自己資本}} \times 100(\%)$$

$$\text{有利子負債/EBITDA} = \frac{\text{有利子負債}}{\text{利益概念の一種}} \times 100(\%)$$

## Ⅱ 財務の視点＞資金力＞資金調達力＞銀行融資の仕組み＞内部格付制度＞財務定量モデル＞デフォルト事象と関連の深い財務指標

### 2. 財務指標の相関関係

- ① 有利子負債比率は、自己資本比率とトレードオフの関係にある  
→ 有利子負債比率は、自己資本比率と相関性が高い
  
- ② 総キャピタライゼーション比率は、自己資本が大きいほど低くなる  
→ 総キャピタライゼーション比率は、自己資本比率と相関性が高い
  
- ③ 固定長期適合率は、固定資産が小さいほど低くなるが、固定資産は総資本と相関性が高い  
→ 固定長期適合率は、自己資本比率の逆数と相関性が高い
  
- ④ 留保利益率は、自己資本比率と極めて相関性が高い



相関性の高い財務指標を省略することで、デフォルト事象と関連の深い財務指標の本質がわかる